

# 洞爺湖ビジターセンター 2015年度 自然ふれあい通信

洞爺湖ビジターセンター・火山科学館では毎月1回、洞爺湖周辺の自然と親しむ「自然ふれあい行事」を開催しています。その様子を少しご紹介します。

## 5月9日(土) 春の中島をあるこう



若葉が芽吹きはじめ、洞爺湖周辺も新緑の季節となりました。春の暖かい日差しの中、洞爺湖ビジターセンター・火山科学館5月の自然ふれあい行事「春の中島をあるこう」を洞爺湖汽船株式会社の協力で行いました。今回の行事は今から約5万年前の火山活動によって誕生した洞爺湖中島に渡り、その現在の様子を観察することが目的です。コースは2種類あり、中島大平原までの往復コース(約3km)と中島遊歩道1周コース(約7.6km)を体力に合わせてお選びいただきました。



中島遊歩道の様子。  
遊歩道を境に天然林と人工林が分かれています



中島の森にはツッキソウという植物が  
びっしりと生えているところがあります。

洞爺湖ビジターセンターに集合し、中島の歩き方などについてレクチャーしたあと、遊覧船に乗って中島に上陸し、まずは大平原を目指して歩きます。中島遊歩道を歩くと林床には2~4種類の植物しか生えていないことがわかります。中島にはエゾシカが生息しており、森に生えている草を食べます。しかしエゾシカにも好き嫌いがあり、今の中島にはエゾシカが食べられない植物が主に残っている状況です。他にもエゾシカが中島の自然環境に与えている様子を見ながら歩き、大平原に到着しました。

大平原到着後は、このまま中島を半周するコースとこのまま引き返すコースに分かれて行動しました。半周コースは7.6kmという長い道のりです。参加者同士声をかけあってゴールの遊覧船乗り場を目指し、湖沿いの道を歩きました。中島半周を歩ききりゲートに到着した際は達成感からか自然と拍手がおきました。

普段は外から見ているだけの人も多い洞爺湖中島ですが、上陸してぐるりと歩いてみるのがおすすめです。



大平原での集合写真。羊蹄山のてっぺんが見えます。  
たくさんの方々にご参加頂きました。

